

## 令和5年度 田尻町教育フォーラムアンケート【集計結果】

日時：令和5年12月16日（土）10時～12時 場所：ふれ愛センター4階研修室

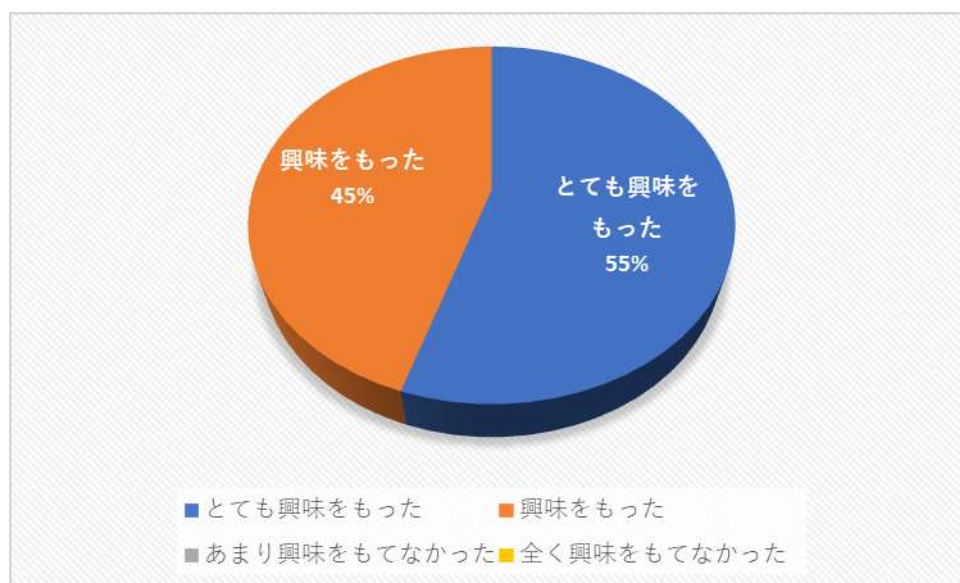
参加者：68名 内容：第1部講演会（講師：二宮衆一氏、小松郁夫氏）

第2部パネルディスカッション（地域代表、保護者代表、学校代表）

### 1. 本日の講演会の内容について

メインテーマ「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

各テーマ ①二宮衆一氏「学校空間を見直す」②小松郁夫氏「たじり一貫教育を共創する」



#### 【理由】

- 今現在、一貫教育に向け考え、少しずつ動き出している中で、様々な思いや課題が見えました。田尻町の子どものための学校が、豊かな学び場、生活の場になるよう、いろいろな機関と協働して考え進めていきたいと思いました。
- 特に学校空間の重要性について考えさせられました。構造面としてだけでなく、その空間をともに作りあげていく教員として、どの子にとっても居場所を見つけられるような空間（学校）を目指していきたいと思いました。
- 住民が自由に参加できる専門家会議の側面をもっていると感じました。
- これからの教育をどうすればいいのかももう一度考えさせられました。
- 一貫校の視察に一緒に行かせていただいた経験から、本日のお話が大変身近でわかりやすく感じることができました。また、コミュニティスクールの考え方についても大変勉強になりました。
- 一貫教育に向けて、ソフト面、ハード面のことが聞けてよかったです。
- テーマが2つあり、それぞれの分野からの話がわかりやすかったです。「学校」という学び場、スタイルの概念を考えるきっかけになりました。そのような視野をもって今後考えていきたいと思いました。

- とても深い学びができたと思います。このような機会を設けていただいたことに大変感謝申し上げます。
- これからの学校施設の在り方、21世紀に生きる今の子どもたちに、どのような「学力」を身に付けさせられるか等、大変興味をもちました。「田尻版一貫教育」の構築に係わる「ハード」と「ソフト」の創造に期待します。
- 手話通訳のお2人がすごくよかったです。90万人の世田谷区ですら難しいのに、8000人の田尻町で教育センターをもっていることがすごいということをお話から知り、興味をもちました。田尻町でインターナショナルハウスをつくるという展望について賛成です。
- 子どもたちがよりよい施設（生活空間）で過ごすことができる未来の話ができてよかったです。
- たじりエンゼルの職員として勤めているが、一貫教育について深く考える時間がないので、この機会に考えるきっかけとなればと思ったので、聞くことができてよかったです。
- 一貫教育をさらに進めていく現場で働く立場として、少し将来が楽しみになりました。
- 様々な学校の紹介があり、今後の参考になりました。
- 一貫教育の実現化についてイメージを持ってました。
- 地域と学校の在り方について、お互いがどう協力して人材育成に努めるかを考えるきっかけになりました。
- グローバルな広い視野でお話いただき、目から鱗という思いで聞かせていただきました。特に教室の7m×9mという明治時代からのものが現在も標準になっていることに驚きました。本当に子どもたちに何が必要でどんな力をつけさせていくのかを広い視野で見ていくことを教えていただきました。ありがとうございました。
- 学校の過去・現在・未来は知っているようで知らないことがたくさんありました。時代とともに、また、よりよい教育を目指して変化していくことに、そこに向かって町も変わろうとしていくことに夢を感じました。学力や教育はすごく大切ですが、まずは人間としての力をしっかり身に付けていきたいと改めて思いました。
- 「教える学校」から「学ぶ環境としての学校」はGOODだと思います。
- 新たな学校を創立するための検討を進めていること、子どもたちが大きな社会に出るための重要性について理解を深めることができました。
- 町民の方が再度学校の建て替えについて考えるいい機会になったと思います。
- 小松先生が4・3・2制で「6年生で卒業式をやらなくて平気です」とおっしゃっていたが、発達論的にみて、本当にそうかなと思いました。田尻町の実情に合った学校づくりをすればよいと思います。
- 教育にお金をかけるのはとても大切だと思いました。ICTを活用した授業もどんどん進めなければいけないと思うが、専門的な知識をもった人が必要と思いました。
- 多くの新しい視点が読み取られました。新鮮で刺激的でした。
- 小松郁夫先生の豊富なお話がとても共感をもって聞かせていただきました。学びのチャンスは地域にあるという考えがすばらしいと思いました。
- 田尻町の発展のために必要だと感じました。

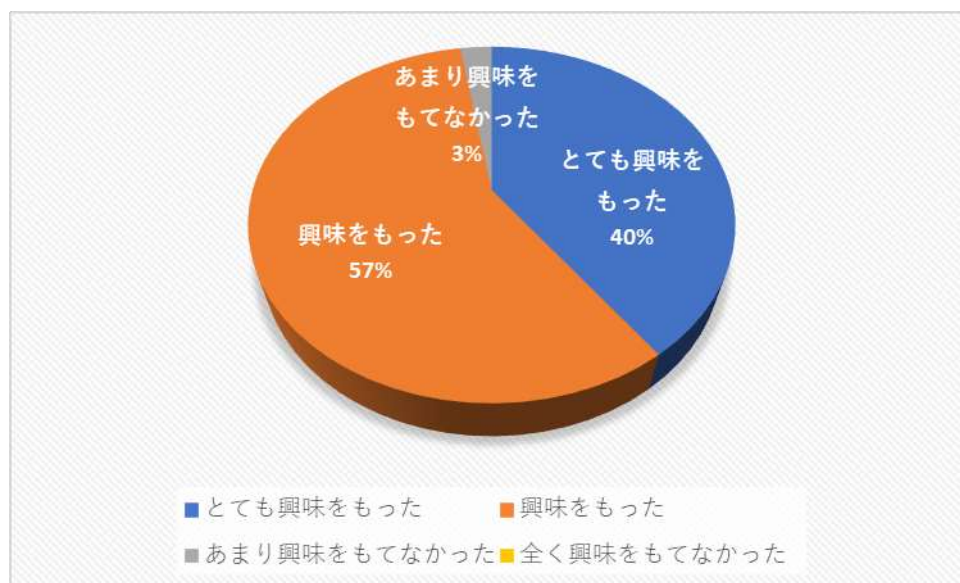
- 時代とともに学びのやり方や学校の在り方も変化していくと思います。学ぶことや学校施設が変わっていくことは当たり前だと思います。ありがとうございました。
- 保護者との協力が大切だと思いました。
- 大阪一の一貫校をつくれる環境にあること、そしてそれができることへの期待感がありました。
- 田尻町が日本 No.1 の一貫校をつくることができるということに期待します。
- 一貫校に向けて、どうしていくのがよいのか、学ぶことができました。

## 2. 本日のパネルディスカッションの内容について

メインテーマ「地域、保護者、学校は何をするべきか」

サブテーマ「0歳から15歳の子どもたちがともに生活することについて」

「めざす子ども像実現のためにそれぞれの立場でできること」



### 【理由】

- 様々な立場の方からの意見、考え、思いをお聞きすることができました。貴重な時間でした。学校、地域、保護者がつながっていけるような環境、工夫が必要だと感じました。そうすることが子どもたちの育ちに大きく影響していくと思いました。
- 地域として、保護者として、様々な立場からのお話を聞き、一貫教育を進めることでの学びの広がりを感じました。今からできる連携もより進めていきたいと思いました。
- 今までは漠然と一貫校をとらえていましたが、一層興味をもって勉強していきたいと思います。
- 思いつく範囲のディスカッションだったので、次はもっと深く提起していく方がよいと思います。
- 3人の方の意見を大切にして見守っていきたいと思いました。
- 妹尾会長が発言しておられた「地域づくりは人づくり」という言葉は、今後の田尻町の理念を端的に表した核となる言葉、理念だと思います。こうした内容について、横井教頭先生、田口さまのご意見も大変参考になるもので、聞かせていただいてとても良かったです。
- 教育現場だけでなく視点の意見を聞くことができる時間でした。普段からこのような機会が必要だと思いますが、どのようにしていくべきかという悩みがあります。

- それぞれのお立場の方の素直な思いにふれ、大変参考になると同時に有意義な学びとなりました。
- それぞれの立場での意見が聞けて良かったです。
- 自立・友愛を久しぶりに聞いて、そうだったなと有り難かったです。学びのプラットフォーム、小松郁夫先生のお話を聞かせていただき嬉しかったです。
- めざす子どもの姿は、めざす大人であり、めざす田尻町だと、義務教育が終わるときにどのような姿になってほしいか、吟味しなければならないことがわかりました。
- どのような流れで行うのか予想しにくかったが、話を聞いていると田尻町ってすごい町なんだなと感ずることができました。
- 地域、保護者の方の意見や考えは普段あまり聞けなかったので、大変貴重だしこれからどんどん聞きたいと思いました。
- 一貫校になるにあたり、つながりの大切さを再認識しました。
- 他の立場の方からの意見を聞くことができてよかったです。
- みなさんが一貫教育に大きな期待をもっていると思います。ぜひ検討を重ね、前向きに進めていってほしいです。
- 保護者、地域、学校がともに歩み寄っていくことは大切だとわかりましたが、いろいろなところでたくさん顔を合わせて話していくことがまず大切だと思いました。方向は同じ方（子どもの育ちをサポートする）を向いている。大人もコミュニケーションが大切だと改めて思いました。
- 0歳から15歳が一緒に育つことで生まれるメリットについて、自分が感じていたことを言葉で丁寧に整理してくださったのでわかりやすかったです。いろいろな立場からの話が聞けて、視野が少し広がったように思います。
- パネリストの発言は納得できる内容でした。
- 定期的な見直しやこうしたフォーラムの開催など継続的にお願いしたいです。PDCAサイクルを回すことが大切だと思います。
- さらに田尻町の核となり、地域の活性化の起爆剤となれるような一貫校ができたらいいですね。
- すべてのお話が抽象的で・・・
- みんなで協力することで子どもたちも町もよくなると思いました。
- 教育現場の声が聞けたことはよかったです。（抽象的な表現が多いのが気になりますが…）
- クレームに対して、どんなクレームがあるのか気になりました。クレームは普通に解決してどんどん前に進みましょう。
- 学びのプラットフォームづくりをそれぞれの位置から協働し、体験するために大切なことを学ばせてもらいました。
- 各々の立場からお話をしてくださり、興味深く伺い勉強になりました。
- 0歳から15歳のつながりを生かした教育、たじりならではの教育の取組みが進むことに期待したいです。
- 地域と学校、それぞれの連携を理解していることを感じました。ぜひ前に進めてほしいと思います。
- 子どもがどういう姿になっているかを学校だけでなく、町全体でイメージを確立するというのが大事だと思いました。

### 3. 異年齢の子どもたちが一貫校でともに学びともに生活することについてどのように思うか

- 0歳から15歳の子どもたち、どの学年をとっても学びにつながる部分があると考えます。でもそのためには、じっくり学びの場や教育の仕方を考え工夫しないと実現できないと思うので、みんなが計画していきたいです。
- とても素晴らしいことだと思います。
- 異年齢同士の学び合いにより、より豊かな心を育むことのできる環境となることを期待します。
- 非常にいいことだと思います。
- ソフト面では一貫性をもって、ハード面では3年区切りほどを目安に、子どもたちにとってストレスフリーな計画を立ててほしいです。また、15年で育てる人間像を明確にもってほしいと思います。
- とても大切なことだと思います。いろんな価値観のある人の意見を聞き考えさせたいと思います。
- 多くの経験が子どもたちをつくっていくと思いますので、そのような場としてとても素晴らしいと感じています。
- 少子化により、子どもたち同士、特に異年齢集団のコミュニティがなくなっており、こうした現状が子どもたちの社会性や集団性の欠如につながっていると思います。ゆえに、一貫校としてこうしたコミュニティをつくり出すことはとても意味があり、意味深いことだと考えています。
- 基本的にいいと思います。すでに田尻町は異年齢の交流等は昔よりいいと感じています。
- 生活の場であり、学びの場である、子どもたちにとって両方の重要性を改めて感じながら、どの校種でもその思いをもつ教職員の意思共有が大切だと強く感じています。
- これからの教育で最も大切なことだと改めて感じる事ができました。一貫教育の重要性を再認識しました。子どもたちにとってとても大切なことだと思います。
- 人間関係を身に付けていく上でも素晴らしいことです。また、人として必要な「優しさ」「協力」「指導力」などの資質が学校生活の中で育っていくものと考えます。
- 怖いと思うこともあるかもしれないけれど、憧れの気持ちから学習に意欲がもてると思います。小学生のころを思い出します。
- めざす子ども像にある「自分の価値を見出す」ためには、様々な価値観をもった人にふれる環境が大事だと改めて思いました。
- とてもすてきなことだと思います。学校から社会とつながる場所として、異年齢のかかわりにたくさん学びがあると思います。
- 課題はあると思いますが、とても良い場、生活ができると思います。
- 前任校の小学校では保育所が校舎内にあり、はじめは問題もたくさんありましたが、交流が増えいきよかった経験があります。
- 子ども同士が関わる機会が増えるだけでなく、別の校種の職員とも関われる点がよいと感じています。
- メリット、デメリットがあると思います。異年齢と関わることで子どもたちがお互いに成長できる部分は必ずあるが、指導として統一していかないといけない部分や、負担になる部分はあると感じています。でも進めていく必要はあると思っています。

- 一人ひとりが様々な体験や経験をつめることはよいことだと思います。
- とても大切だと思います。
- メリットはたくさんあると思います。人として育つ、心が豊かになる、教育が積み重なる、安心感がある、段差が解消される、などです。それが実現されるためには、職員一人ひとりの意識や生活がともにできるような環境が必要だと思いました。夢はあるがハードルも高いと感じました。
- 大賛成です。18歳までが如何に大切か、自分の人生をふりかえって心から思います。
- エンゼルの子どもたちと中学生が砂場で一緒に遊んだりできるようになれば、心も豊かに育つと思います。そのようなしくみを教えてつくっていただきたいです。
- こども園を小中学校と一緒にすべきではありません。小中学校の敷地が手狭な中で、こども園が建設されて20年ほど前なのに、またごく近い位置にあるのに移転させることは考えられません。
- 悪くはないと思います。しかし、就学前、小学校、中学校で授業時間や活動内容が大きく異なる中で同じ建物で学ぶことはできるのか。敷地は同じでも建物は別ということになってしまうのではないかとも思いますが、それでは一貫教育の意味もないと感じてしまう・・・難しいです。
- 1つの試みとして検討に値するとは考えられますが、これだけを単独に取り上げて、やればよいというものではないと思います。
- それぞれの進度に応じて学んでいけることは素晴らしいと思います。心理的にも豊かに育つのではないだろうか。おらかな子どもたちに育ってほしいと思います。寛容性が大事です。
- 大切なことだと思います。
- 登校、下校の様子を見てみると、自然と交流しているように思われます。こういった光景が広がることを願います。
- 家庭では体験できない体験ができることはいいと思います。
- 弱者（体力的、学力的）への配慮が生まれるのでよいことだと思います。自身が過ぎてきたことを9年間で学べるまたは学びなおせます。エンゼルと小中学校は、よくシミュレーションやシステムの的に進めることが重要だと思います。
- 子どもが安心して過ごせる、子どもたちの心が豊かになるなど、一貫校で異年齢が生活することは、子どもたちにとっては良い面のほうが大きいと思います。
- 田尻町だからできる子どもたちのつながりや体験が将来にわたって充実した経験として生きてくると思います。
- これからの時代、魅力ある一貫教育をしていくことは重要であり、していくべきだと考えます。
- 田口さんの話が具体的で、ともに育つ環境整備のもと新しい教育に期待しています。行事での交流プラス普段の学校生活での交流から育つ子どもたち、素敵な学校ができるんだと考えながら参加することができました。
- 日常の中での関わりの中から学び、成長することで、社会に出たときの人間性に大きく関わってくると思うのでとても良いと思います。また、教職員としても、学校園の中ではカリキュラムのつながりがある程度認識できていると思うが、それを越えたところを知ること、より15年の積み重ねを系統立てて見ることができることから良いと思います。

#### 4. 本日の内容をふまえ、地域・保護者・学校それぞれの立場で教育にどのように関わろうと思うか

- 新しい学校ができるまでの数年間も計画を進めながら、今ある環境の中でつながりをもっていけるようにしたいです。
- 子どもたちの将来（中学、高校、社会に出てからなど）のことを考えながら、地域、保護者とつながり、子どもたちの学びを深めていきたいと思います。
- 地域と学校の垣根をとらえずにオープンにしていきたいと思います。
- 地域の大人はすべて先生であるという自覚と自負をもつことが大事だと思います。私はその社会の形成をめざします。
- 今までは遠くから見ていたが、もう少し関わりたいと思いました。
- 保護者、地域に開かれた学校をめざし、互いに支え合いながら子どもたちを育てていこうと思いました。
- 一貫校設立に向けての機運醸成に努めたいと考えています。そのため、日ごろから園小中の教員相互の意識交流がとても大切だと思います。
- 育ちゆく子どもを“見通す”視点を常に意識していきたいです。園でのことを知っていただく発信力をつけていきたいです。できることをやっていきます。がんばります。
- 今後も自身の立場でがんばっていこうと思います。
- 地域は常に「子育て（教育）」に係わって、直接的（交流等）また間接的（支援）に役割を果たす必要があると考えます。
- 見守り隊のみなさん、すごいスピードでがんばってくださっているのに、子どもに怪我をさせてしまうとダメなので、参加できず困っています。心の面で考えてサポートしていきたいです。
- 「地域づくりは人づくり」というように協力体制で関わりたいと思います。
- 子どもに対して自分で考える力、人と人とのつながる力をたくさん感じられるような保育をしていきたいです。
- 乳幼児に関わる立場として、積極的に学び関わってきたいです。
- 人とのつながりを大事にし、よりよい学校に整備していきたいです。
- こども園、小学校、中学校の先生との意見交流を増やし、めざす子ども像を実現するための方向性の共有をしてみたいです。
- 何かを変えるということはとても大変で力のいることだと思います。田尻だからこその良さは残しつつ、これからの時代を生きる子どもたちが楽しく学び続けられるよう、変わる覚悟をもって取り組んでいきたいと思います。
- 是非、地域のみなさんのご理解ご協力がいただけるようすすめていきたいです。
- 学校でもっと地域の方や保護者の方と一緒に何かできることを考えていきたいと思います。
- 一貫した目標をもち、就学前にできること、就学前だからこそのできること、しないといけないことをしていきたいと思います。人としての土台が大切だと改めて思いました。
- 昔のことしか知らないなので、最近の学校を知る必要性を感じました。
- 社会教育（地域教育）を重視していきたいです。
- 地域の子どもたちのために教師としてがんばります。

- 地域のおじさんとして、おせっかいかもかもしれませんが、子どもたちに声をかけ目をかけ見守っていきたいです。
- もし、要望があれば協力はできると思います。
- まずは、青少年指導員として子どもの安全安心を守るべく見守っていきたいと思います。自分自身の学びの姿勢も忘れずにいたいと思いました。
- 自分にできることを積極的に関わろうと思います。
- できることをできるように関わりたいと思います。
- 疑問、課題をオープンに議論し、やろうとしていることは良いことなので完全な形でスタートしたいと思います。
- これからの変化、改革に向けて大きな動きがすすめられる中、自分に与えられた役割を着実にこなしていきたいと思います。
- 地域のコミュニティが積極的に関わられる体制ができたら積極的に参加したいです。
- これからの田尻町のコンセプトをふまえた上で、私に何ができるのか模索したいです。
- これからは地域、保護者、学校とそれぞれの立場で協働して取組みを進めて行くという意識が、当たり前のレベルとして関わろうと思います。
- 子どもたちのことは日常の中で関り、保護者ともある程度接点はあります。しかし、地域というとまだまだ難しいところは残ります。子どもたちのことについて、地域の方々が知っている場合など、学校外のことについては教職員では限界があります。協力、分担していきながら子どもたちを見守っていくことが必要だと思いました。

## 5. その他、子どもたちの教育全般について

- 未来において、子どもたちの数の増加が想定されていないのではないかと思います。よい環境には必ず人が集まります。本気で日本一の学校をつくるのなら、ぜひ現行比 1.5 倍以上の想定をしてほしいです。
- 本日は貴重な機会を設けていただきありがとうございました。
- 「自立」に向けた教育、いろいろな分野において子どもたちが興味、関心がもてる環境づくりを整えてほしいです。
- このような「教育」に関する「フォーラム」や「意見交換会」などを継続していくことが望まれます。教育委員会は、様々なツールを通して、「情報発信」を大いにやるべきだと思います。
- 12月13日（水）、大阪音楽大学のピアノコンサートに行ってきました。たじりふれ愛センター1階玄関前に飾られているように「感謝」という言葉がよく目に入ってきました。感謝を育てる中学校3年生の時のようなまちづくりをめざしたいと思いました。今日の講演会、涙が出ました。このような機会を準備していただき、本当にありがとうございました。
- 多数派の人たちにはいいと思うが、少数派の人たちの意見も大事にしてほしいと思います。
- 一貫教育の進行状況など情報発信をもう少し関係機関や教職員が地域に発信していければと思いました。
- 田尻町の教育を優れた先進的なものにしようという気力をみたいです。



- まだまだ抽象的なところが多くあるのだと思います。田尻町の教育に関わる人間として、傍観するのではなく、積極的に関わっていきたいと思います。
- 多くの方が大学に進学する傾向にありますが、もっと地に足をつけて職人技（芸術関係）を学ぶことが必要と思います。
- 変化を恐れず、スピード感をもって、何を・いつまでに・だれがなどを明確にしながら目標に向かって進めていってください。これからの社会創生は子どもたちにかかっています。
- 0歳から15歳の子どもを町民全体で見守っていけると、子どもたちはのびのび、健やかに育つと思いますので、地域ももっと学校に関わっていかないといけないと思います。
- 何をもちて大阪 No.1なのか、視察がくる学校づくりというのか、もっとお話を聞きたかったです。やはり主役は、子ども、先生です。
- 日本はますます子どもが少なくなって、世界的にインドやアフリカが人口増で世界の発展が変わっていく中にあります。子どもたちは、大きな視点から見て、グローバルに育てる必要があると思っています。田尻町には、関西国際空港も関西国際センターもあります。学びのチャンスはまさに地域にあります。変化を受け入れることが大切です。先生からの後押しもあり、すべてうまくいくと思います。
- 大切な地域の子どもたちが、すくすく育ち、学校で楽しく勉強し、気の合う友だちとしっかり遊ぶことでコミュニケーション力を育て、将来人のために働き、幸せになってほしいと願います。どうか学校関係の方々、地域の方々、子どもたちを大事にしてほしいと思います。地域に開かれた学校はとてもいいと思うのですが、児童の安全を保障しなくては意味がないと思います。
- 学校と地域の垣根をなくし、TDFや交流を活性化させ、体験を増やしてほしいです。
- 一貫校を整備するのであれば、まわりから関心をもたれ、うらやまれる教育環境を整備してほしいです。
- 学習意欲のある子どもたちには、家庭環境にしばられない学習機会を与えてあげてほしいです。
- 施設や仕組みを変えていくことは必要だし大事なことだと思います。教育にお金をかけていただく中で、教職員の数を増やして手厚く子どもたちを見ていけるようにしてほしいです。
- 子どもたちが学校に行きたい、学校が楽しいと思える学校づくり。子ども、教職員、保護者、地域の方々とともに当たり前のように学校にいて、取組みが当たり前のようになっている未来を想像しました。常に地域の方々がいる学校の取組みの成果や課題から、ぜひ田尻町に活かせたらと考えながら参加できました。地域の方々同士のつながりもでき、より良い地域づくりにも発展していくんだと思いました。ありがとうございました。

みなさま、たくさんのご意見ありがとうございました。

こちらの貴重なご意見を今後につなげてまいりたいと思います。

この度は誠にありがとうございました。